

「八潮の教育」合同報告会2022

令和5年2月16日に八潮メセナで、「八潮の教育」合同報告会2022～小中一貫教育ではばたく児童生徒～を開催しました。合同報告会は、小中一貫教育を柱に進めている本市の教育を市内外に広く周知するため毎年実施しているもので、令和3年度に引き続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで開催しました。

報告会の一部を紹介します。

1 プログラミング教育の実践報告



八潮市教育委員会は柳之宮小学校を「八潮市小学校プログラミング教育研究校（令和3.4年度）」とし、その研究成果について学校から報告がありました。

研究報告では、教師のプログラミング教育に関する理解や指導力の向上、児童の主体的な学習への取組など、成果や課題が提示されました。

また、授業（理科）での実践例（LEDを1回点滅させるプログラムの作成）を紹介し、オンラインで視聴している先生方も実際に操作を体験しました。

小学校におけるプログラミング教育のねらいは「プログラミング的思考」を育むことです。情報技術を効果的に活用しながら論理的・創造的に思考し、課題を発見・解決していくためにプログラミング的思考が求められています。

▶ プログラミング的思考

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要か、どのように改善していくべきか等、よりよい方法を論理的に考えていく力

2 秋田県小坂町との相互研修報告



©小坂町 かぶきん

秋田県小坂町と八潮市は平成27年度から教職員の相互研修を行っています。小坂町では施設併設型の利点を生かし、小中9年間での一貫した指導を行っています。日々の学びを自分の生活と結び付けることによって、子どもたちが学ぶ意味を感じ、学習への意欲につながっています。今年度、派遣研修に参加した代表教員から発表があり、研修成果やそれを今後の八潮の教育へ生かすための提案がありました。また、小坂町教育委員会の指導主事からも、本研修が両市町の授業改善・授業力向上につながっているとのお話をいただきました。

3 不登校児童生徒への支援について

小中一貫教育の良さを生かす支援について、「つなぐ（見届ける）」をキーワードに、八潮市教育相談所の専任教育相談員とスクールソーシャルワーカーから報告がありました。



八潮こども夢大学 & 八潮こども防災マイスター



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止していた「八潮こども夢大学」と「八潮こども防災マイスター」の2事業を3年振りに実施しました。

こども夢大学は、学習に対する興味・関心や知的好奇心・探求心を養い、将来の夢や希望を持たせることを目的とし、平成26年度からスタートしました。



八潮こども夢大学を開校し、11人の児童が参加しました。各大学では、模擬授業や施設見学等を行い、新しい発見や貴重な経験をし、夢への一步となりました。

日程	場所	内容
10/15(土)	聖徳大学(看護学部)	聴診器を使った体験学習
10/22(土)	淑徳大学(人文学部)	演劇ワークショップの体験学習
11/26(土)	聖徳大学(文学部)	司書（お話会）の体験学習
12/3(土)	昭和大学(医学部)	手術器具を使った医療技術体験
12/10(土)	東海大学(情報通信学部)	生涯スポーツ体験とVR体験

令和5年2月25日に、八潮こども防災マイスター育成プロジェクトが包括協定を結んでいた國士館大学で行われ、17名の児童生徒が参加しました。

講習では、心肺蘇生法や応急手当、初期消火訓練など、様々な防災に関する訓練や体験を行い、防災知識や救命救急の重要性について学びました。また、参加した児童生徒には認定書と防災マイスターのロゴ入りキャップ、防災ベストが授与されました。今後、マイスターたちの学校や地域での活躍が期待されます。

問い合わせ

埼玉県八潮市中央二丁目10番地17 電話048-996-2111(内線398)
八潮市教育委員会 学校教育部 小中一貫教育推進室

小 中 一 貫 教 育



子どもたちの未来を彩る 小中一貫教育

～学びを結ぶ 次のステージへ～

はばたきプラン

小中一貫教育「はばたき2022」 八幡中学校ブロック研究発表会

〈研究主題〉

学力・体力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進
～子どもたちの未来を拓く「はつらつプラン」～

令和4年11月25日に、八幡中学校ブロック（八幡小学校、柳之宮小学校、八幡中学校）で小中一貫教育研究発表会が開催されました。午前中は八幡小学校と柳之宮小学校において、それぞれ3つの授業が公開されました。午後は八幡中学校において4つの授業が公開され、最後に体育館で全体会が行われました。

全体会では、3校で取り組んできた研究内容や研究成果についての発表があり、充実した研究発表会となりました。

八幡中学校ブロックでは、「キャリア教育」を3校共通の柱とし、研究に取り組みました。具体的には、共通のキャリアアンケートを実施し、ブロックにおける児童生徒の課題を明らかにして研究の成果を検証しました。育成すべき4つの基礎的・汎用的能力を「つながる力」「むきあう力」「たたかう力」「はばたく力」とし、児童生徒たちにも意識しやすい用語になるよう工夫しました。また、小中学校間の接続を意識した独自のキャリア・パスポートを作成し、活用を図りました。



▲中学校のキャリア教育発表会に小学生もオンラインで参加

八幡中学校の公開授業では、職業に関する学習成果を発表する授業があり、ブロックの小学生がオンラインで参加しました。

また、八幡小学校では国語、柳之宮小学校では算数の公開授業を行い、それらが中学校で、どのようにつながり、生かされているのか、八幡中学校では国語と数学の授業も公開しました。

小中学校の連携や授業のつながりが、本市の小中一貫教育の大きな成果になっています。

八幡中ブロックキャリアノート

キャリアパスポート



キャリアパスポート



令和5年度 小中一貫教育 の取組

令和5年度は、八潮市が小中一貫教育を推進してから18年目を迎えます。引き続き、9年間の「授業のつながり」を意識しながら授業改善を推進し、すべての児童生徒に「学力」、「体力」、「豊かな心」を育成していきます。令和4年度は、教職員が構成員となっている「小中一貫教育推進検討部会」にICT部会を新設し、GIGA端末等

の活用について研究しました。令和5年度も、小中学校での共通した指導や八潮スタンダードとICTの有効活用を研究し、情報活用能力の育成に取り組んでいきます。

また、小中一貫教育「はばたき20

23」研究発表会は、八幡中学校ブロック（八幡小学校、八幡北小学校、八幡中学校）において、ブロックの取組や授業実践について報告する予定です。

令和5年3月 八潮市教育委員会



©八潮市

学びを結ぶ 次のステージへ

令和元年度

令和2年度

令和3年度

令和4年度

全般

《重点》
八潮スタンダードによる授業改善の更なる推進

■新体力テスト攻略ハンドブックの配付

「新体力テスト攻略ハンドブック」を全児童生徒に配付しました。体育授業において活用しながら、児童生徒の一層の体力向上を目指します。

■不登校対策の手引きの配付

「不登校対策の手引き」を全教職員に配付し、不登校の未然防止に努めています。

■生活ガイド・学習ガイドの電子化

これまで下敷きに加工して配付していたガイドを、各学校で自由に活用できるよう電子化しました。

■神奈川県綾瀬市県外学校運営研修の受入れ

綾瀬市から教員4名が派遣され、市内小中学校で4日間の研修を行いました。



推進体制 ・研究指定

教職員が検討部会の構成員となつて、学力・体力の向上や豊かな心を育む具体策について研究を進めています。

保護者 ・地域

保護者や地域の方々にご理解とご協力をいただきながら小中一貫教育を進めています。

小中一貫教育を支える方々

きめ細かな教育を実践するため、様々な人材を配置しています。

■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

- ・けいかく部会…5部会の連絡調整、研究授業報告書の作成
- ・まなび(学力)部会…「八潮スタンダード」国語版、算数・数学版の改訂
- ・まなび(体力)部会…「八潮スタンダード」体育版、新体力テスト攻略ハンドブックの活用促進
- ・こころ部会…「八潮スタンダード」道徳版、「不登校対策の手引き」活用の周知
- ・しえん部会…「八潮スタンダード+しえん」の作成



■研究発表会 (R1.11.19)

- ・八潮中ブロック（潮止小、松之木小、八潮中）

■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から5部会の全会議を中止としました。

■公開授業研究会 (R2.11.10)

- ・潮止中ブロック（中川小、大瀬小、潮止中）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当初予定していたブロック研究発表会を中止し、3校合同の公開授業研究会を行いました。



■小中一貫教育推進委員会各部会での検討

- ・けいかく部会…5部会の連絡調整、1人1台端末活用状況の共有、研究報告書の作成
- ・まなび(学力)部会…ICTを活用した授業実践の共有、「八潮スタンダード（外国語版）」の検証
- ・まなび(体力)部会…「八潮スタンダード（体育版）」活用の共通理解、体育授業におけるICT機器の活用
- ・こころ部会…「キャリアパスポート」の作成、「八潮スタンダード道徳版×ICT」の作成
- ・しえん部会…「はばたきファイル」電子化の検討



■研究発表会 (R3.11.12)

- ・大原中ブロック（大曾根小、大原小、大原中）

■「はばたき2019」合同報告会 (R2.2.18)

小中一貫教育について、保護者や地域の方々にご理解をいただくため、平成18年度から小中一貫教育合同報告会を実施しています。



■はばたきプランの作成

小中一貫教育を周知するため、毎年、リーフレットを作成・配布しています。

R2.3月発行

■「八潮の教育」合同報告会2020 (R3.2.16)

小中一貫教育を柱とする八潮の教育について市内外に周知するため、これまで実施していた「教育の日発表会」と「小中一貫教育合同報告会」を合併し、名称を「『八潮の教育』合同報告会」に改めました。

令和2年度は感染防止対策を行なながら規模を大幅に縮小して開催し、八條北小学校の特色ある教育活動の一つである外国語活動について、5年生が担任とALT（語学指導助手）、語学指導補助員と一緒に、ステージ上で模擬授業を行いました。

■はばたきプランの作成



R3.3月発行

■「八潮の教育」合同報告会2021合同報告会 (R4.2.15)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで開催し、市内全校に配信しました。

報告会では、研究発表会を行った大原中学校ブロックの授業実践をはじめ、小中一貫教育推進委員会各部会の活動内容について報告がありました。

また、タブレット端末が全児童生徒に配付されたことから、1人1台端末の活用例や柳之宮小学校のプログラミング教育など、様々な取組が報告されました。

■はばたきプランの作成



R4.3月発行

■「八潮の教育」合同報告会2022 (R5.2.16)

令和4年度の八潮の教育に係る研究成果や実践について合同報告会（裏面）を開催しました。令和3年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで開催し、市内全校に配信しました。



■「はばたき2022」学校公開

埼玉県では、教育に対する理解を一層深めていただくため、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

八潮市においても教育の日に合わせ、10月から11月にかけて、土曜授業や校内音楽会、バザーなど、家庭や学校、地域社会と連携しながら様々な事業を実施しています。

●少人数指導補助教員 (学力向上指導員含む)

23人（各小中学校）

22人（各小中学校）

22人（各小中学校）

22人（各小中学校）

●さわやか相談員・ スクールカウンセラー

5人（各中学校）・7人

5人（各中学校）・6人

5人（各中学校）・5人

5人（各中学校）・6人

●介助員

14人（小学校10校）

15人（小学校10校）

16人（小学校10校）

17人（小学校10校）

●理科支援員

1人（小学校3校）

1人（小学校4校）

1人（小学校3校）

1人（小学校3校）

●語学指導補助員・ALT

10人（各小中学校）・6人

10人（各小中学校）・7人

10人（各小中学校）・7人

10人（各小中学校）・7人

●学校司書

1人（2小1中学校）

1人（2小1中学校）

2人（4小2中学校）

2人（4小2中学校）

●教育相談所関係職員

8人

8人

8人

8人